

大津市立田上小学校



外観

1873(明治6)年に創立した歴史ある小学校。1951(昭和26)年に大津市立田上小学校となり、現校舎は築36年が経過している。大津市の市立小・中学校全55校のトイレ改修計画の第1校目として、トイレ改修が実現した。



女子トイレ 全体

これまでは、男子がブルー、女子がピンクという内装としてきたが、職員で意見を出し合い、男女共通で温かみのある木目調の内装としている。

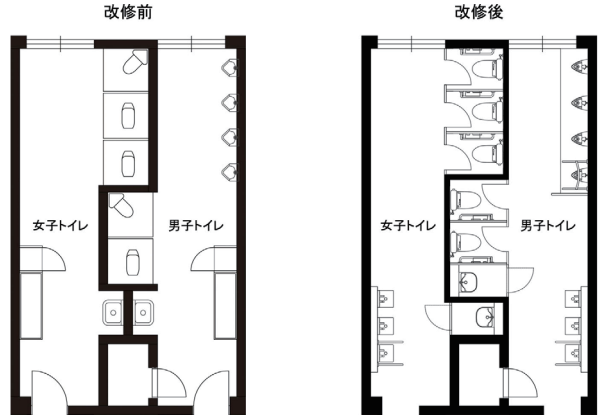


女子トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーの水栓は、衛生配慮と節水、さらに低学年の児童ではハンドル式が操作しづらいことから、すべての洗面にて節電型の自動水栓を採用している。

トイレ図面

レイアウトを工夫し、器具数を減らすことなく、すべての大便器を洋式化。また、衛生面に配慮し出入口はドアレスに変更している。



女子トイレ
大便器ブース

大便器はすべて洋式化し、連続洗浄ができるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。また使用中の姿勢保持や、ケガをした児童などの立ち座りをサポートするため、全ブースにL型手すりを設置している。



男子トイレ
小便器コーナー

窓から光が差し込む明るい小便器コーナー。小便器は床の清掃性に優れた壁掛型を採用している。



マルチシンク

乾式清掃化に伴いすっきりとシンプルに整えられたSKブース。掃除用流しは、コンパクトなマルチシンクを採用している。

水まわりの特長

改修の経緯

滋賀県大津市の「田上小学校」は、1873(明治6)年に創立された歴史ある小学校。1951(昭和26)年に市町村合併にて大津市立田上小学校となり、2021(令和3)年で、148年を迎える。現在の校舎は築36年が経過し、老朽化が目立ってきており、さらにトイレに関しては、数年前から和式便器への抵抗や、臭いについて改善を求める声があがっていた。このような現状を踏まえ、大津市ではトイレ改修計画を推進。大津市内の市立小学校・中学校全55校において、最初の現場として改修が実現した。今回は北校舎と南校舎の中央トイレが改修され、来期以降は、未改修部分と体育館などの工事が計画されている。

トイレの特長

トイレはすべて洋式化し、自宅で当たり前になってきている温水洗浄便座を学校でも使用できるように、児童用・教職員用ともにウォシュレットを設置。また、使用中の姿勢保持やケガをした児童などの立ち座りをサポートするL型手すりを全ブースに備えている。大便器は、コンパクトですっきりとしたデザインのパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用することで、限られたトイレ内でゆとりあるスペースを確保。内装は職員で意見を出し合い、児童用は明るい木目調を床や扉に多用し、温かみのある空間を演出。教職員用はダーク系の木目調を採用し、落ち着いた雰囲気としている。

建築概要

名称	大津市立田上小学校
所在地	滋賀県大津市新免1-1-12
施主	大津市
設計	三和総合設計株式会社
施工	関西設備工業株式会社
竣工年月	(改修)2021年11月
敷地面積	11,329㎡
建築面積	2,390㎡
延床面積	7,759㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BC
ウォシュレットP:TCF587／棚付紙巻器:YH501FMR
壁掛小便器:UFH500／小便器自動フラッシュバルブ:TEA62ADS
壁掛ハイバック洗面器:LS125DM／壁掛自動水栓:TENA125A
水石けん供給栓:TLK04202J／L型手すり:T112CL10
マルチシンク:SK500



職員トイレ 全体

職員用トイレの内装は、児童のトイレとは異なりダーク系の木目調で、落ち着いた雰囲気となっている。



職員トイレ
大便器コーナー



児童用トイレと同様に、すべての大便器にウォシュレットを搭載。姿勢保持や立ち座りをサポートするL型手すりも全ブースに設置している。



改修前



改修前のトイレは、和式便器が中心で、洗浄方式や手洗いの水栓金具もすべて手動式。床も湿式清掃であった。